

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)
事務事業名				内 直接事業費	4	有効性評価						
				内 人件費	5	効率性評価						
1	消防・救急体制の充実	火災・救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	27,642,936	事務事業評価					施設の機器等の清掃及び点検を実施し、不良改善箇所を早期に発見して修繕等を行う。	施設の維持管理のため清掃や点検を行い、早期に不良箇所を発見し修繕を行ったので、経費削減には至らなかった。	施設、設備等の老朽化が進んでいるため、適正な維持管理に努め、随時点検を行い不良改善箇所を早期に発見し修繕等を実施する。	
	60101010		6,187,067	1	消防本部 消防署	21,455,869	2	藤城 義徳				
	本署管理事務		13,144,701	3	高い	7,008,378	4	高い				
			6,136,323	5	高い			改善の効果				高い
2	消防・救急体制の充実	火災・救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	9,675,621	事務事業評価					庁舎の老朽化が進んでいるため、点検を随時行い不良、欠損箇所及び改善箇所の修繕等を早期に行う必要がある。	施設の点検を随時行い、欠損や改善箇所を早期に発見し維持管理を適正に行った。	施設、設備等の老朽化が進んでいるため、適正な維持管理に努め、随時点検を行い不良改善箇所を早期に発見し修繕等を実施する。	
	60101020		2,581,933	1	消防本部 消防署	7,093,688	2	藤城 義徳				
	赤羽根分署管理事務		6,157,603	3	高い	2,515,786	4	高い				
			3,641,817	5	高い			改善の効果				高い
3	消防・救急体制の充実	火災・救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の施設設備等の維持管理を行う。	19,069,249	事務事業評価					施設、機器等の清掃及び点検を定期的実施し維持管理を行い、光熱水費などは業務に支障のない範囲で執行管理の徹底を図り、需用費削減に努める。	施設などの清掃及び定期点検を実施し維持管理には努めたが、光熱水費などは経費削減には至らなかった。	施設、機器等の老朽化も進むため、引き続き清掃及び点検を実施し維持管理に努め、消耗品費、光熱水費などは業務に支障のない範囲内でコスト削減を目指す。	
	60101030		4,153,658	1	消防本部 消防署	14,915,591	2	藤城 義徳				
	渥美分署管理事務		15,303,716	3	高い	4,230,643	4	高い				
			11,073,073	5	高い			改善の効果				普通
4	消防・救急体制の充実	・消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 ・火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全的確な活動を実施する。	276,296,637	事務事業評価					・ベテラン職員の退職に伴い、消防力の低下を抑えるため職員の育成に努める。 ・消防活動用資機材の老朽化に伴い、更新計画を作成し維持管理を行う必要がある。	・各種訓練を実施し、消防活動技術の向上を計った。 ・消防活動を行うための資機材の更新、維持管理を実施した。 ・新規採用職員の集合訓練を実施、課題を見出し、今後の対応策を計画した。	・各種訓練を継続し、更なる消防活動技術の習得を行う。消防活動業務を実施していくうえで、消防資機材の適正な維持管理に努める。 ・若手職員に対する教育カリキュラムを作成し、質の高い計画的な育成を実施する。	
	60101060		4,708,792	1	消防本部 消防署	271,587,845	2	藤城 義徳				
	消防活動事業		317,292,701	3	極めて高い	7,022,246	4	高い				
			310,270,455	5	普通			改善の効果				高い
5	消防・救急体制の充実	東三河共同受信において迅速かつ確かな出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	78,653,669	事務事業評価					デジタル無線移行後の問題点の改善等円滑な通信業務が行えるようにする。	東三河消防指令センターとの情報交換を密に行い、問題の共有及び早期解決に努め、デジタル無線の円滑な運用が図れた。	デジタル無線の円滑な運用の継続及び通信機器の機能の安定化のため、適正な維持管理を図り、先を見越した指令装置の更新計画を図る。	
	60101070		15,491,489	1	消防本部 消防署	63,162,180	2	藤城 義徳				
	通信指令事務		97,606,437	3	極めて高い	20,371,502	4	高い				
			77,234,935	5	高い			改善の効果				高い
6	消防・救急体制の充実	水火災等の災害における円滑な消防団活動を実施するため、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施する。また、消防団員の処遇を充実し円滑な消防団活動の運営を図る。	131,534,455	事務事業評価					・消防団が、各種災害現場において、その機能を十分に発揮できるように円滑な消防団活動の推進を図る。 ・課題として消防団員の確保が非常に厳しい現状がある。市民の安全・安心確保のため、地域に密着した消防団員の確保は必要不可欠である。	・消防団員の条例定数を見直し、746人から720人に減じた。また、機能別団員制度を導入し団員確保を図った結果、団員数が増加した。 ・処遇改善の面では消防団応援事業所制度を実施した。	消防団員の処遇改善のため、出動時の費用弁償、退職償金の見直しを図る。また、「消防団の装備の基準」等の改正があったことから、無線機、救助活動用資機材、安全装備品の充実を図る。	
	60101080		110,114,939	1	消防本部 消防課	21,419,516	2	大場 広之				
	消防団活動事業		118,638,990	3	極めて高い	102,003,756	4	高い				
			16,635,234	5	普通			改善の効果				極めて高い
7	消防・救急体制の充実	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所・車庫の維持管理を実施する。	6,205,395	事務事業評価					各分団との調整を図り、経費削減に努めながら消防団施設の維持管理を図る。	福江分団3号車詰所の東側壁面改修工事、野田分団2号車詰所、伊良湖岬分団2号車詰所のエアコン更新を実施した。	必要により消防団施設の修繕を行い、地域の活動拠点としての維持管理を図る。	
	60101090		3,324,202	1	消防本部 消防課	2,881,193	2	大場 広之				
	消防団施設管理事業		7,707,777	3	高い	4,569,676	4	高い				
			3,138,101	5	高い			改善の効果				普通

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
事務事業名		事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名			
		事務事業の目的	内 人件費	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
			内 人件費	3 妥当性評価	4 有効性評価			
		事務事業の目的	内 直接事業費	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
			内 人件費	5 効率性評価				
8	消防・救急体制の充実	火災予防啓発活動を積極的に実施し、防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	26,771,690	事務事業評価		・既存住宅への住宅用火災警報器の普及啓発の推進が望まれる。 ・防火対象物への定期的な立入検査の実施を行う。 ・防火管理者による消火訓練、避難訓練等の積極的な実施を指導する。	・人事異動に伴い担当職員数が1名減り、ポイントを定めて業務を行うことで対応した。 ・各地区での消火、避難訓練による実績が減ってしまったが、立入検査において前年以上の実績を上げることで火災予防の啓発を行った。	老人サービスの多様化に伴う既存施設の用途変更に対する消防設備等の指導を行う。
	60101100		647,710	1	消防本部 消防課			
	火災予防推進事業		26,123,980	2	大場 広之			
			22,803,056	3	高い			
			691,587	4	高い			
		22,111,469	5	普通	改善の効果	普通		
9	消防・救急体制の充実	消防法令に基づき危険物製造所等の許可、認可及び立入検査等の指導を行い、危険物が適正な施設や手続きに沿って取り扱われるよう指導し、危険物に関する事故等の発生を防ぐことにより市民の安全を確保する。煙火消費許可及び立入検査等を適正に行い、事故を防止し市民の安全を確保する。	23,049,339	事務事業評価		・危険物製造所等の許可、認可及び施設への立入検査を行うことで安全換業の推進を行う。 ・煙火消費許可及び立入検査等の実施により安全な消費を指導する。	・人事異動に伴い担当職員数が1名減り、ポイントを定めて業務を行うことで対応した。 ・立入検査において前年実績を下回ったが、充実した内容に心掛けて行った。	危険物施設自体は、全国的に減る傾向にあるが、既存の施設は老朽化が進んでいる現状から、事故防止のため適正な維持管理の指導を行う。
	60101110		491,901	1	消防本部 消防課			
	危険物災害防止事業		22,557,438	2	大場 広之			
			14,198,549	3	高い			
			2,522,600	4	極めて高い			
		11,675,949	5	普通	改善の効果	普通		
10	消防・救急体制の充実	・災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	37,937,007	事務事業評価		消防車両の特殊性から維持管理にコストがかかるが、今後も自主点検等を徹底し効率的な維持管理を目指す。	車両の法定・自主点検等を実施し、緊急出動に対応した車両管理ができた。	定期的に法定・自主点検等を実施する。
	60101120		7,490,774	1	消防本部 消防署			
	消防車両等維持管理事務		30,446,233	2	藤城 義徳			
			35,458,919	3	極めて高い			
			8,949,041	4	高い			
		26,509,878	5	高い	改善の効果	高い		
11	消防・救急体制の充実	・老朽化した防火水槽を取壊し、耐震性防火水槽を整備する。 ・火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。	8,900,543	事務事業評価		消防力のひとつである防火水槽の整備は、消防の責務であり、耐震性を有する二次製品を選択し、老朽化した防火水槽取壊しと併せて市有地への設置を推進する。	老朽化した防火水槽2基(60m3、96m3)を取壊し、二次製品(コンクリート製)防火水槽(40m3)1基を市道、1基を区有地に設置した。また、1基の無蓋防火水槽を有蓋化した。	老朽化した防火水槽の更新及び無蓋防火水槽の有蓋化を図る。また、防火水槽設置については、消火栓整備と併せバランスをとって整備を図る。
	60102010		5,996,550	1	消防本部 消防課			
	防火水槽整備事業		2,903,993	2	大場 広之			
			22,186,911	3	極めて高い			
			15,373,050	4	極めて高い			
		6,813,861	5	高い	改善の効果	普通		
12	消防・救急体制の充実	・火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修を行い有効水利を確保する。 ・無蓋防火水槽の防護金網を取替え、安全確保に努める。	11,133,611	事務事業評価		消防水利を常時使用できるよう、巡視点検を充実させると共に安全上の維持管理、衛生面の向上、看板等の管理の徹底を図る。	防火水槽投入口をマンホール型へ取換え4か所、無蓋防火水槽へ金網設置1か所、落葉除け網設置4か所、老朽化した防火水槽取壊し7か所を実施。	有事の際に円滑な消防業務が行えるように消防水利の維持管理を行い、市民の日常生活の安心に寄与するため、老朽化した消防水利の取壊しや修繕に取り組む。
	60102020		3,800,746	1	消防本部 消防課			
	消防水利維持管理事務		7,332,865	2	大場 広之			
			8,760,491	3	極めて高い			
			5,205,826	4	極めて高い			
		3,554,665	5	普通	改善の効果	普通		
13	消防・救急体制の充実	・消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 ・火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	17,852,891	事務事業評価		水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、未充足地域へ新設を行い、消防水利の整備を効率良く実施する。	消火栓の新設・移設替え等の整備は、水道事業と協議し消防力の整備指針に基づき適正配置に努めることができた。	消防水利の整備拡充が今後も課題となるため、効果的に消防水利を分布させ、新たな開発行為等における設置や、耐震性を有する消防水利の設置を図る。
	60102030		15,067,130	1	消防本部 消防課			
	消火栓設置・維持管理事務		2,785,761	2	大場 広之			
			23,173,494	3	極めて高い			
			20,899,283	4	極めて高い			
		2,274,211	5	高い	改善の効果	普通		
14	消防・救急体制の充実	・各種災害事案に対応するため、老朽化し機能低下した消防車両の更新整備を図る。 ・最新の資機材を整備し、迅速、安全な現場活動を図る。	28,221,560	事務事業評価		消防施設等整備事業計画に基づき消防車両の更新計画を図る。	老朽化した本署の小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)更新整備を行った。	計画的な更新整備の実施及び車両状態を鑑み適宜事業計画の見直しを図る。
	60102040		23,453,782	1	消防本部 消防署			
	消防車両整備事業		4,767,778	2	藤城 義徳			
			41,338,501	3	極めて高い			
			39,879,693	4	高い			
		1,458,808	5	高い	改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)	3
事務事業名				内 直接事業費	4	有効性評価							
				内 人件費	5	効率性評価							
15	消防・救急体制の充実	地域住民の安全・安心を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	9,151,716	事務事業評価					消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽程度等を考慮し計画的に更新する。	更新年数を経過し老朽化した消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。また、総務省消防庁から小型動力ポンプ付軽自動車の無償貸付を受け、福江分団に配備した。	事業が適正に推進され、消防団業務の円滑な推進を図ることが結果として市民に対する貢献に繋がることとなるため、消防団車両の更新は計画的に実施する。		
	60102050		6,772,817	1	消防本部 消防課	2,378,899	2	大場 広之				改善の効果	高い
	消防団車両整備事業		44,630,284	3	極めて高い	40,185,174	4	高い					
			4,445,110	5	極めて高い								
16	消防・救急体制の充実	火災・救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の整備を行う。	3,202,794	事務事業評価					補修を必要とする施設等の早期改修を行う。	・故障した玄関自動ドアの改修工事を行った。 ・老朽化した訓練塔の改修工事を行った。	・愛知県防災ヘリコプターの備蓄燃料を消防署で保管するため燃料貯蔵庫を新築する。 ・訓練塔周囲の訓練場は未舗装であり、安全管理面の充実を図るため、舗装整備をする。		
	60102060		714,000	1	消防本部 消防署	2,488,794	2	藤城 義徳				改善の効果	高い
	本署整備事業		4,399,726	3	高い	2,730,000	4	高い					
			1,669,726	5	高い								
17	消防・救急体制の充実	火災・救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の整備を行う。	24,518,821	事務事業評価					定期的に点検を実施し、老朽化等の不良箇所を早期に発見して修繕等を実施する。	出動準備室等を改修、回転式ロッカーの購入により迅速な出動体制がとれた。	平成26年度で大規模な改修は終了するが、不良箇所を発見したら早期に修繕等を実施する。		
	60102080		16,102,800	1	消防本部 消防署	8,416,021	2	藤城 義徳				改善の効果	高い
	渥美分署整備事業		47,087,356	3	高い	33,840,450	4	高い					
			13,246,906	5	高い								
18	消防・救急体制の充実	消防団の活動拠点である詰所・車庫等の改修及び整備を行い、施設の充実を図る。	0	事務事業評価					詰所23か所の点検を行い、老朽化した施設を対象に建替え、修繕を行う。	老朽化した伊良湖岬分団3号車のホース干場を取壊し、新たに設置した。また、26年度詰所建設予定地の測量調査を行った。	老朽化した詰所・車庫の計画的な更新を図る。		
	60102090		0	1	消防本部 消防課	0	2	大場 広之				改善の効果	普通
	消防団施設整備事業		7,491,973	3	高い	5,230,050	4	高い					
			2,261,923	5	普通								
19	消防・救急体制の充実	救急救命士を計画的に養成する。また、救急救命士の応急処置の拡大に伴い、救命率の向上を図るため関係教育機関に派遣し、気管挿管や薬剤投与の資格、高度な知識及び技術を習得させる。	21,228,512	事務事業評価					薬剤投与と救急救命士、気管挿管救急救命士を各々毎年1人以上養成して行く。また、救急救命士の高齢化、管理職への登用等により現任救急救命士の確保が困難になってくるため、新規採用職員の救急救命士枠を検討する。	救急救命東京研修所の救急救命士研修過程に1人派遣、救急救命士国家試験に合格した。薬剤投与及び気管挿管プロトコル運用試験の受験者に事前勉強会を実施した。救急標準課程講習2人受講、修了し救急隊員として業務開始した。	今後も薬剤投与と救急救命士、気管挿管救急救命士を各々毎年1人以上養成を図る。また、救急救命士の高齢化、管理職への登用等により現任救急救命士の確保が困難になってくるため、新規採用職員の救急救命士枠を継続する。		
	60103010		4,069,264	1	消防本部 消防課	17,159,248	2	大場 広之				改善の効果	普通
	救急救命士等養成教育事業		19,901,307	3	極めて高い	3,437,982	4	極めて高い					
			16,463,325	5	普通								
20	消防・救急体制の充実	・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。	258,513,211	事務事業評価					・救急搬送傷病者のうち、軽症者の占める割合が高く、救急車の適正利用について救命講習等で広報していく必要がある。 ・救急出動については、チームトレーニングを十分に行い、現場活動時間の短縮、質の高い活動を行う必要がある。また、高度化する救急業務に対応していく必要がある。	出動した事案に対し検証、チームトレーニングを行い、現場活動時間の短縮、質の高い活動が行えるようになった。	・救急車の適正利用について広報を行う。 ・高度化する救急業務に対応するため、隊員・資機材の充実を計る。		
	60103020		6,948,995	1	消防本部 消防署	251,564,216	2	藤城 義徳				改善の効果	高い
	救急活動事業		259,134,647	3	極めて高い	7,071,360	4	極めて高い					
			252,063,287	5	高い								
21	消防・救急体制の充実	普通救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及に努め救命率を高める。	22,365,286	事務事業評価					救命にはバイスタンダーによる救命手当が重要である。地域・企業等でAED設置整備が進む中救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。	・実技救命講習を2回実施したが、12名の参加者にとどまった。 ・上級救命講習を一般公募で募り、25名の参加者を得ることができた。	救命入門コースの受講者は増加したが、普通救命講習Ⅰの受講者が減少しているため救命入門コースの講習時に実技救命講習、普通救命講習ⅠのPRを行い受講者数を増やす。		
	60103040		585,051	1	消防本部 消防署	21,780,235	2	藤城 義徳				改善の効果	普通
	救命講習推進事業		21,350,623	3	極めて高い	526,614	4	極めて高い					
			20,824,009	5	高い								

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)	3
事務事業名				内 直接事業費	4	有効性評価							
				内 人件費	5	効率性評価							
22	消防・救急体制の充実	<p>60103050</p> <p>救急車両等維持管理事務</p> <p>・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。</p>	25,109,129	事務事業評価					<p>緊急車両であることから、特に安全性が求められるため、万全な車両の整備が必要。今後も法定点検、自主点検を行い徹底した維持管理を行う必要がある。</p>	<p>車両の法定点検、始業点検及び使用後の自主点検を行い、緊急車両としての車両管理ができた。</p>	<p>法定点検及び自主点検を徹底し、緊急車両としての維持管理を行う。</p>		
			2,571,316	1	消防本部 消防署								
			22,537,813	2	藤城 義徳								
			21,141,522	3	極めて高い								
			2,511,350	4	高い								
		18,630,172	5	高い					改善の効果	高い			
23	防災・減災体制の充実	<p>60201010</p> <p>自主防災活動推進等支援事業(60201010,60201020)</p> <p>災害発生時における被害を最小限に抑えるため、「自分の命は自分で守る みんなの地域はみんなで守る」の趣旨の下、各地区で組織されている自主防災会の活動を支援、自主防災会が整備する防災資機材への支援を行う。</p>	24,039,984	事務事業評価					<p>・奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。 ・推進地区活動支援は、24年度で校区としては一通り終了したが、更なる地域防災力向上に向け、継続して実施する必要がある。</p>	<p>伊良湖校区(2回目)、神戸校区(未実施地区)で実施。地域防災力の向上と、地域住民の意識高揚が図られた。</p>	<p>推進地区活動支援は未実施地区への支援もを行い、財政的支援も含め更なる地域防災力の向上に向け事業を継続して実施していく。</p>		
			14,736,815	1	消防本部 防災対策課								
			9,303,169	2	森下 隼								
			25,999,399	3	極めて高い								
			13,568,821	4	高い								
		12,430,578	5	極めて高い					改善の効果	高い			
24	防災・減災体制の充実	<p>60202010</p> <p>防災意識啓発事業</p> <p>各種訓練の実施や講習会・講演会等の開催を通じて、市民・自主防災会等の防災・減災意識の高揚を図る。また、市総合防災訓練を開催し、防災関係機関や事業者・諸団体等との連携を強化し、市全体の防災力の向上を図る。</p>	19,110,891	事務事業評価					<p>・防災訓練、防災カレッジ・ほーもん講座等講習会実施、子ども防災教室の開催等を実施。 ・東日本大震災から月日が経ち、継続した意識高揚を図る必要がある。</p>	<p>天候により中止となった総合防災訓練の代わりにして、日を改めて防災機関(消防、警察、自衛隊)と実践的な救助救出訓練を実施。</p>	<p>県の被害想定及び市が実施する被害予測調査を踏まえ、引き続き訓練・講習会等実施により啓発を推進する必要がある。</p>		
			4,632,842	1	消防本部 防災対策課								
			14,478,049	2	森下 隼								
			12,852,342	3	極めて高い								
			3,263,065	4	高い								
		9,589,277	5	普通					改善の効果	高い			
25	防災・減災体制の充実	<p>60202020</p> <p>ボランティアコーディネーター養成事業</p> <p>災害時、市内外から集まるボランティアによる支援が有効に活かされるよう、被災者ニーズとボランティアとの調整役となる防災ボランティアコーディネーターを養成する。</p>	3,742,933	事務事業評価					<p>ボランティアコーディネーター養成講座、フォローアップ講座を開催。フォローアップ講座については、参加人数が少なく、また、顔ぶれも同じである。</p>	<p>24年度まで自主防災組織を対象として実施してきたが、新たな取組として、次世代を担う若者(高校生)も対象として養成講座を開催。</p>	<p>・引き続き高校生も対象として実施。フォローアップ講座以外にも、防災訓練に参加。 ・フォローアップ講座内容の見直し(屋外での立ち上げ演習、グループワーキング等)。 ※平成27年度から社会福祉協議会へ移管予定。</p>		
			120,000	1	消防本部 防災対策課								
			3,622,933	2	森下 隼								
			1,765,796	3	高い								
			326,875	4	高い								
		1,438,921	5	普通					改善の効果	高い			
26	防災・減災体制の充実	<p>60202030</p> <p>災害対策事業</p> <p>市の総合的な防災活動を効果的に推進するため、地域防災計画や国民保護計画等の見直しを図る。防災・減災に関する調査・研究や防災資機材等の整備を通して、市の防災力の向上を図る。緊急的な津波避難対策については、地域・事業者・市協働で全市的に取り組む。</p>	53,294,411	事務事業評価					<p>南海トラフ地震を始めとする自然災害に対する災害対策を推進。特に南海トラフ地震については、何としても「命を守る」ことが最優先課題。</p>	<p>災害対策基本法の改正に合わせた地域防災計画の修正、地震・防災戦略(アクションプラン)の見直し等、市の防災体制の整備に努めた。また、広域応援体制の整備のため、災害時相互応援協定を締結(3市・1協議会)。</p>	<p>地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。また、南海トラフ地震については、愛知県の被害予測調査結果を受け、市の詳細調査を実施し、更なる対策の推進を図る。</p>		
			11,067,868	1	消防本部 防災対策課								
			42,226,543	2	森下 隼								
			53,399,580	3	極めて高い								
			7,310,703	4	極めて高い								
		46,088,877	5	極めて高い					改善の効果	高い			
27	防災・減災体制の充実	<p>60202050</p> <p>災害対策事業(消防)</p> <p>台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資機材を整備し被害の軽減を図る。</p>	2,746,476	事務事業評価					<p>風水害等の緊急時に備え、必要とされる資機材の確保を行うほか、移送手段を考慮する必要がある。</p>	<p>老朽化した防災用備蓄土のうを更新し、予定数を確保すると共にバレットに効率良く積載し、移動手段の改善を行う。</p>	<p>風水害等の緊急時に備え、必要とされる資機材の検討及び確保を行う。</p>		
			1,337,400	1	消防本部 消防課								
			1,409,076	2	大場 広之								
			2,138,034	3	高い								
			1,415,625	4	高い								
		722,409	5	普通					改善の効果	普通			
28	防災・減災体制の充実	<p>60203020</p> <p>防災情報通信施設設備等整備事業</p> <p>地震・津波、風水害等の自然災害や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民へ迅速、かつ、的確に伝達するため、防災行政無線をはじめ各種防災情報通信機器の整備を図る。</p>	102,625,844	事務事業評価					<p>自然災害に対応するため各種防災情報通信機器の整備を行っているが、不足している機能が見受けられるのが現状である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金事業(国庫)の採択を得、財政的な負担の軽減を図りながら整備が実施できた。また、沿岸部への津波対策用子局を増設することにより、津波避難対策機能が向上した。</p>	<p>市民への防災情報を迅速・確実に伝達するため、引き続き計画的に防災情報通信機器の整備推進を図る。また、社会資本整備総合交付金等を活用することにより、特定財源の確保に努める。</p>		
			90,998,650	1	消防本部 防災対策課								
			11,627,194	2	森下 隼								
			304,972,463	3	極めて高い								
			296,577,800	4	極めて高い								
		8,394,663	5	普通					改善の効果	極めて高い			

No	施策名		事務事業の目的	H24決算額(円)		事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)			
	事務事業コード	事務事業名		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名	H25決算額(円)				3	妥当性評価	内 直接事業費
29	60203030	防災・減災体制の充実 水防対策事業	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生 の防止に努め、応急対策を行うために必要 な資材の整備を図る。	5,762,764	事務事業評価					・災害時に対応できるよう定期点検を実施し、 資機材の維持管理に努める。 ・備蓄資材の偏りについて検討し適正な保管に 努める。	浸水等の被害軽減を図るため排水ポンプの購入 及び水防倉庫の増築を行った。	近年各地で発生しているゲリラ豪雨等大規模な水害に 備え、資機材のさらなる充実を図るとともに資機材の使 用方法等訓練実施により、災害現場での迅速な対応 及び被害の軽減に繋げる。				
				238,425	1	都市建設部 土木課										
				5,524,339	2	大羽 剛志										
				38,602,895	3	極めて高い										
				33,943,171	4	高い										
4,659,724	5	普通	改善の効果	高い												
30	60203040	防災・減災体制の充実 防災倉庫管理事業	災害発生時における災害応急活動・災害復 旧活動等を迅速に実施するため、市防災倉 庫及び各校区の防災倉庫等の適切な維持 管理を図る。	7,163,822	事務事業評価					平成24年度に作成した備蓄計画により、計画的 に食料品等を備蓄。今後、市の被害予測調 査により、必要量が増える可能性あり。また、 保管場所が課題。	防災倉庫の管理、備蓄品の計画的な更新。	備蓄計画の見直し、備蓄方法の見直し(市、家庭、企 業、自主防災会、流通備蓄在庫活用等)を行う。				
				4,526,725	1	消防本部 防災対策課										
				2,637,097	2	森下 鍊										
				14,255,235	3	極めて高い										
				10,844,697	4	高い										
3,410,538	5	高い	改善の効果	高い												
31	60203050	防災・減災体制の充実 防災設備管理事業	災害発生時に避難所や医療救護所等として 活用される防災施設及び市内に整備した近 隣防災広場・防災井戸等の適切な維持管理 を図る。	2,645,845	事務事業評価					医療救護所として8か所を予定しているが、医 師の体制、避難者数により見直しが必要。	現有物品(EM-5等)の適切な管理。	応援を含めた体制整備を図り、医療救護所設置場所 の見直しを行う。				
				1,713,218	1	消防本部 防災対策課										
				932,627	2	森下 鍊										
				1,545,153	3	極めて高い										
				1,087,824	4	極めて高い										
457,329	5	普通	改善の効果	高い												
32	60203060	防災・減災体制の充実 防災情報通信施設設 備等管理事業	地震・風水害等の災害情報や交通安全・防 犯情報、その他市政全般に関する情報を、 市民へ迅速かつ的確に伝達するため、防災 行政無線をはじめ各種防災情報通信機器の 適切な維持管理を図る。	37,649,775	事務事業評価					防災行政無線、デジタル地域防災行政無線、 400Mhz防災行政無線等の老朽化が激しく、 単純な修繕等では補えなくなってきた。そのた め、計画的な更新・整備を図る必要がある。	機器の保守点検の実施および修繕を実施し、可 能な限り性能を保つようになっている。	無線機器等の老朽化対策として、計画的な修繕計画 及び整備・更新計画を策定し、確実な情報収集・発信 体制を構築する。				
				33,739,917	1	消防本部 防災対策課										
				3,909,858	2	森下 鍊										
				30,912,029	3	極めて高い										
				27,283,638	4	極めて高い										
3,628,391	5	普通	改善の効果	高い												
33	60203070	防災・減災体制の充実 防災施設整備事業	地震・津波等からの避難を迅速・確実・安全 に行うため、避難誘導灯等を整備する。 また、津波の浸水が想定される地域で、か つ、避難時間に余裕がない地域や観光地等 へ、「分かりやすい」避難案内看板等を整備 する(『道標』プロジェクト)。	5,112,437	事務事業評価					地震・津波からの避難を迅速・確実・安全に行 うため、避難誘導灯、避難誘導看板、啓発看 板等を整備。	従来からの避難誘導灯の整備に加え、分かりや すい津波避難標示として整備(道標プロジェクト) を実施。	・平成26年度は、伊良湖岬周辺、太平洋沿岸で実 施。 ・平成27年度は、田原中心市街地、三河湾沿岸(幹 線道路沿線)で実施予定。				
				3,832,500	1	消防本部 防災対策課										
				1,279,937	2	森下 鍊										
				19,147,644	3	極めて高い										
				18,849,600	4	高い										
298,044	5	高い	改善の効果	極めて高い												
34	60204010	防災・減災体制の充実 地区集会所耐震化推 進支援事業	自主防災活動や地域コミュニティ活動等が、 活発かつ安心・安全に推進できるよう、その 活動拠点である地区集会所等の耐震診断や 耐震改修に対し支援を行う。	4,747,114	事務事業評価					・地区集会場全ての耐震診断業務は終了。 ・改修に至っていないものの対応が課題。 ・木造については、最初の診断から10年経 過。診断方法も変わっているので、再調査も検 討する必要がある。	耐震診断7件、耐震改修補助1件	最初に診断してから10年経過。診断結果0.7以上 1.0未満のものについては、特に改修等されていない ため、基準を満たしているか再度調査し、基準を満た していないものについて、改修・建て替えを促進する。				
				2,193,450	1	消防本部 防災対策課										
				2,553,664	2	森下 鍊										
				9,364,702	3	極めて高い										
				8,011,500	4	極めて高い										
1,353,202	5	高い	改善の効果	高い												
35	60204020	防災・減災体制の充実 建築物耐震化推進支 援事業	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等 建築物の耐震化を推進することにより都市の 防災性を高め、震災から市民の生命と財産を 守る。	38,744,842	事務事業評価					・耐震改修は当初予定した件数に対して近づ いてはいるが、まだ到達していない。 ・簡易耐震対策など特に高齢者の申請件数が 向上しておらず、高齢者の安全対策意識及び 対策補助件数が低い。	(取組) 耐震改修工事費上乗せ補助 耐震診断ロー ラー作戦、耐震無料相談会、耐震出前講座 (成果) 診断102件、改修工事35件 簡易耐震2件	・前年に引き続き診断ローラー作戦、無料相談会、出前 講座を行なう。 ・耐震改修促進計画の見直しで新たな施策を検討す る。				
				31,570,785	1	都市建設部 建築課										
				7,174,057	2	岡田 利幸										
				65,064,216	3	極めて高い										
				57,036,716	4	高い										
8,027,500	5	普通	改善の効果	高い												